2025 年 4 月 19 日作成　第 4 版

研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院　薬剤部

記

研究の名称	ケア移行期における薬剤情報共有の実態調査 －薬剤安全に与える影響－
対象	2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に本院を退院・転院された患者さんです。予定対象者数は、44,000 人を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2024 年 3 月 5 日）　～　2030 年 3 月 31 日
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的：地域完結型医療が求められる中、多職種・多機関において、患者さんの情報を正確に伝達、共有することは安全な医療提供のために重要ですが、入退院などのケア移行期において、情報の伝達もれや転記誤りなどによる薬剤関連事故が発生しやすいことが知られています。この研究では、退院・転院する際（ケア移行時）の薬剤情報共有の実態を可視化し、薬剤情報の共有を促進あるいは阻害する要因を明らかにすることを目的としています。 利用方法：2023 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に大阪医科薬科大学病院から退院・転院した患者さんを対象とします。診療科・入院病棟ごとに、退院または転院か、転院先施設の機能別、薬剤情報の伝達方法別で、次項目に示した項目を経時的に後方視的観察研究として評価します。

	なお抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。また研究結果は学会や学術誌で発表する予定です。 利用又は提供の開始予定日：2024 年 3 月 5 日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：年齢、性別、身長、体重、入院日、退院日（転院日）、血算・生化学検査結果、受診診療科、入院病棟、転院先、処方日、薬剤管理指導日、疑義照会件数、処方提案件数、疑義/提案後の修正・変更件数、薬剤管理指導料算定件数、施設間情報連絡書発行件数、返書受付件数、退院時薬剤情報管理指導料算定件数、退院時薬剤情報連携加算件数、薬剤総合評価調整加算件数、薬剤調整加算件数、診療情報提供書発行件数、薬剤関連インシデント報告数、副作用報告数、持参薬・処方薬・使用薬剤数、関連薬剤費
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名

【研究責任（代表）者】

大阪医科薬科大学病院　薬剤部　　副部長　　西原 雅美

参加拒否の申し出について

ご自身の診療情報や使用薬剤情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付

いたします)。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

〒569-8686　大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 薬剤部

担当者　　西原 雅美

連絡先　　072-683-1221（代）　内線 2203

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学　学長　殿
大阪医科薬科大学病院　病院長　殿

大阪医科薬科大学病院
研究責任者　西原 雅美　殿

研究の名称	ケア移行期における薬剤情報共有の実態調査 －薬剤安全に与える影響－

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年　　月　　日　　対象者　　住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄：　　）

住所

氏名（自署）